

たぶんかきょうせいしゃかいすいしんしん あたら  
ひょうご多文化共生社会推進指針を 新しくしました

1 新しくする 目的

2016年3月に「ひょうご多文化共生社会推進指針」をつくりました。いろいろな文化の人たちが兵庫県でいっしょに暮らしやすくなるための計画です。その後社会や経済の様子が変わりました。兵庫県ではいろいろな国から来た外国人の住民がふえています。産業にとって大切な外国人もふえています。いろいろな文化の人たちがもっと暮らしやすくなるようにこの計画を新しくしました。これから5年間の計画です。

<社会や経済の様子が変わりました>

- ・外国人の住民がふえています。外国人の国籍や外国人がいる地域もふえています。
- ・「出入国管理及び難民認定法」<外国人が日本に入るときについての法律>が変わりました。「特定技能」という新しい在留資格ができました。
- ・「日本語教育の推進に関する法律」ができました。みんなが日本語を勉強できるようにするための法律です。
- ・総務省<国の役所>が「地域における多文化共生プラン」をあたらしくしました。SDGs<将来のために環境をまもりながらいまの生活をもっとよくするための目標>の考えにあわせて新しくしました。
- ・新型コロナウイルスが広がって多文化共生<いろいろな文化の人たちがいっしょにくらす>の環境も変わりました。

2 兵庫県に住む外国人の様子

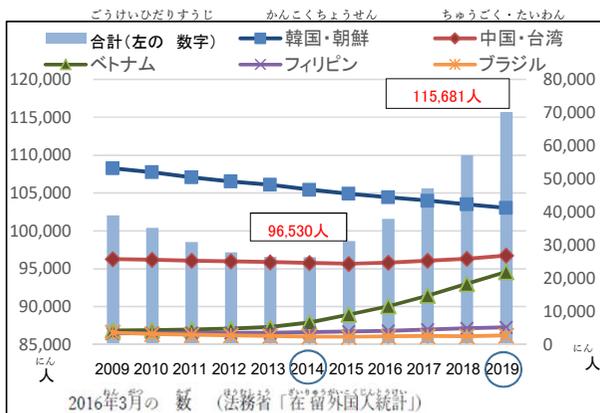
(1) 兵庫県に住む外国人の数

① 2014年から2019年までの様子

2014年12月の在留外国人の数は96,530人でした。そのときからふえています。2019年12月には115,681人になりました。日本で7番目に多いです。5年の間に19,151人(19.8%)ふえました。

② どの国・地域の人が多いか(2014年-2019年)

2019年12月は韓国・朝鮮の41,206人が一番多かったです。つぎに中国・台湾が26,821人、ベトナムが21,870人でした。2014年12月とくらべるとベトナムが15,290人(232.4%)ふえました。国籍の数は、2014年12月は141でした。2019年12月は、157にふえました。



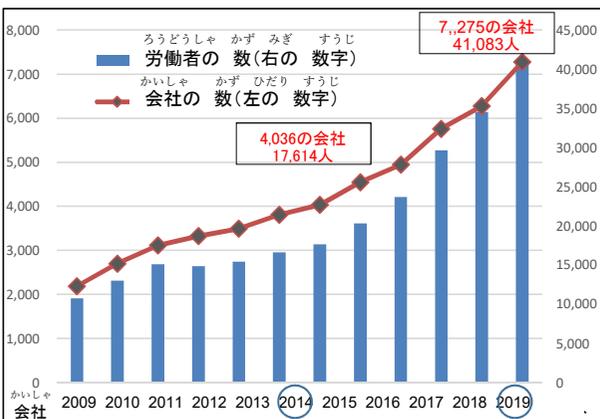
③ 外国人が住んでいる地域(2014年-2019年)

2019年12月は神戸地域が50,155人が一番多かったです。ふえる割合が一番高いのは北播磨地域で、93.1%ふえました。但馬・丹波・淡路も50%以上ふえました。

(2) 兵庫県で働く外国人

① 2014年から2019年までの様子

外国人が働いている会社の数と、兵庫県で働いている外国人の数はどちらもふえています。2014年は4,036の会社、17,614人でした。2019年には、7,275の会社、41,083人にふえました。



② どの国・地域の人が多いか(2014年-2019年)

2019年はベトナムの17,207人が一番多かったです。つぎに中国が9,582人、フィリピンが3,094人でした。2014年と比べるとベトナムが14,877人ふえました。

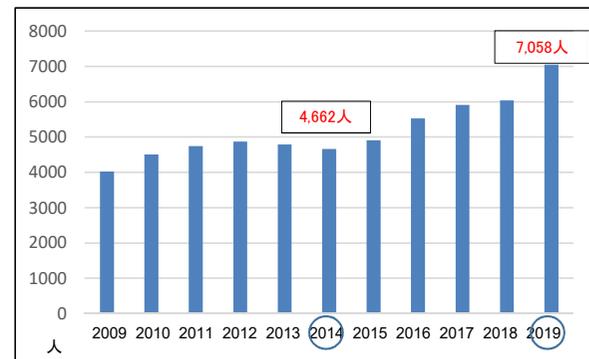
(3) 兵庫県の外国人留学生

① 2014年から2019年までの様子

2014年の外国人留学生の数は4,662人でした。2019年には7,058人にふえました。

② どの国の人が多いか

(2014年-2019年)  
2019年は中国の3,065人が一番多かったです。つぎにベトナムが2,065人、韓国が424人、ネパールが228人でした。2014年と比べるとベトナムが1,786人ふえました。



(兵庫県地域留学生交流推進会議「兵庫県内外外国人留学生在籍状況調査」)

3 社会や経済の様子が変わって必要になったこと

(兵庫県の市や町・郡・支庁の国・地域の国・地域の住民に話をきいてわかったことです)

① 外国人の国籍や住む地域がふえたことにあわせてひつようなことをします

- ・兵庫県に住む外国人がふえて、国籍の数もふえています。外国人がいる地域もふえています。住んでいる外国人の様子をよく見て、それぞれの地域の事情にあわせた環境をつくるひつようがあります。
- ・兵庫県のどの地域でも、外国人があんしんして医療のサービスをうけることができるようにするひつようがあります。
- ・さいきん外国人がふえている地域では、地域の住民が多文化共生をよく理解することがひつようです。

② 教育をよくします

- ・外国人の児童・生徒がふえています。学校で勉強するための言葉をまなんで、学力を高くするひつようがあります。児童・生徒が、仕事ができる力をそだてて、満足な人生をおくるためです。
- ・「日本語教育の推進に関する法律」ができました。幼児・児童・生徒、外国人留学生、会社で働いている人たちが、住んでいる地域のなかで日本語を勉強できるようにするひつようがあります。

③ 兵庫県の産業にとっても外国人は大切です

- ・会社で働く外国人の様子をしっかりと知って、働きやすくなるためにたすけるひつようがあります。兵庫県の経済を強くするためにもひつようです。
- ・外国人が地域の社会や人々と交流して、お互いに協力できるようにする必要があります。

④ 災害<地震・津波・洪水など>・感染症<新型コロナウイルスなど>にそなえます

- ・外国語でもっと情報をつたえることができるようにするひつようがあります。外国人が相談できる場所をふやすひつようがあります。病気をひろげない「新しい生活様式(ひょうごスタイル)」にあった多文化共生をすすめるひつようがあります。

4 めざす姿・必要なこと・すすめること イメージ

**1 めざす姿**  
 兵庫県を 多文化共生<いろいろな 文化の人たちが いっしょに くらす>の 社会にします。いろいろな 文化が もつ いいところを 活用します。兵庫県に 住む人たちが みんな いっしょになって 地域を 元気にします

**2 必要なこと**

(1)外国人の 国籍や すむ 地域が ふたたごに あわせて ひつようなことをします	(2)教育を よくします	(3)兵庫県に 産業にとつても 外国人は 大切です	(4)災害<地震・津波・洪水など>・ 感染症<新型コロナウイルスなど>に せなえます
---	--------------	---------------------------	--

**3 誰がすすめるか**  
 兵庫県、市や 町、兵庫県にある 国の 役所、兵庫県・市や 町の 国際交流協会、外国人の 集まり、外国人を たすける 団体、企業、教育機関、地域住民の 組織  
 連絡を とりながら いっしょに 活動する

**4 すずめていくこと**

(1)特に 大事に すずめていくこと

①兵庫県に 住む 外国人の 人権<生きる 権利>を 大切にします	②兵庫県に 住む 外国人が 地域の 活動へ 参加しやす くなります	③外国人の 児童・生徒な どが 教育を うけること が できるようにします	④医療通訳を 使いやす くなります	⑤災害・感染症に 負い ないようにします
----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	-------------------	----------------------

(2)すすめていくこと

①多文化共生の 意識を つく ります	②いろいろな 文化を 理解して 活躍できる 人を そだてます	③暮らしやすく 働きやすい 生活が できるようにします	④誰もが 参加できる 元気の 地域を つくります
多文化共生が 大切なことを たくさんの人に 知らせます	外国人の 児童・生徒が 日本語 (か) や じぶんの 国の ことばを 勉強できるようにします	いろいろな 外国語で 情報をつたえます	兵庫県に 住む 外国人が 地域の 活動へ 参加しやすくなります
地域の 事情に あわせて 多文化共生の 環境を つくり 情報をつたえます	外国人が 学校へ 入って 勉強しやすくなります	いろいろな 外国語で 相談できる ようにします	多文化共生を すずめる人を そだてます
	外国人が 学校へ 入って 勉強しやすくなります	日本語や 日本の 文化・習慣を 勉強できるようにします	
	外国人留学生や 仕事をす る 外国人が 来やすくなります	医療・保健・福祉の サービスを うけやすくなります	
	外国人の 感覚を もった人を 兵庫で そだてます。外国との 交流を すずめます	外国人が 来やすくなります	
		外国人の 就職を たすけます。働きやすくなります	
		災害<地震・津波、洪水など>に せなえます。災害のとき 早く 情報を 知ることができるよう にします	
			病気が 広がるのを ふせぎます

5 特に 大事に すずめていくことが 5つあります

社会や 経済の 様子が 変わったので、下の 5つのことを 特に 大事に すずめていきます。関係する 役所や 団体などが 協力しながら 一緒に すずめていきます。

①兵庫県に 住む 外国人の 人権<生きる 権利>を 大切にします	生活・文化、スポーツの 交流などで、外国人と 地域の 住民は お互い に よく 理解するようになりました。しかし、外国人の 差別は 今でも まだ 残っています。外国人を 攻撃することを いう人もいます。おたがいの もつ 歴史を 理解して、国籍や 民族の ちがいを みとめることで、外国人の 人権を 大切にす 多文化共生の 社会を つく ります。
②兵庫県に 住む 外国人が 地域の 活動へ 参加しやす くなります	兵庫県の どの地域でも、会社、監理団体<技能実習生を しょうかいす る 団体>、役所、地域の人たちが お互いに 意見を 交換できるように します。これから もっと ふえていく 外国人と まわりの 住民が 交流して、お互いを たすけるようにします。自分とは ちがった人たち とも 一緒に 暮らすことが できる 地域を つくります。外国人が 働きやすい 条件で 安全に 働くことが できるように します。
③外国人の 児童・生徒 などが 教育を うけ ることが できるように します	勉強するための 言葉を 学校で まなんで、学力を 高めます。相談 も できるようにします。進みたい 高校や 大学に入って、満足な 人生 を おくるためです。また、兵庫県の いろいろな 地域の 高校で、きま った 数の 外国人を 特別に 入りやすくします。学校の 先生が 多文化共生について 勉強します。外国人の 児童・生徒が 安心して あつまって 教育を うけることが できる 場所を つくります。地域の 日本語教育を たすけます。外国人の 集まりで 自分の 国の 言葉を 勉強できるように たす けます。
④医療通訳を 使いやす くなります	医療機関を もっと 便利にして、外国人が 安心して 医療サービスを うけることが できるようにします。医療通訳も 使いやすくなります。地域の 病院を もっと 使いやすくなります。
⑤災害・感染症に 負 けないようにします	役所や 生活の 情報を 外国語や かんたんな 日本語で つたえま す。外国人のための 相談窓口が お互いに 連絡を とりやすくなります。病気を ひろげない「新しい生活様式(ひょうごスタイル)」に あつた 多文化共生を すずめます。大きな 災害のときに いろいろな 外国語 で 情報をつたえる 場所を つくります。外国人に 情報を つた えやすくなります。

# 6 すすめていくこと

兵庫県を 多文化共生 いろいろな 文化の人たちが いっしょに <くらす>の 社会にします。いろいろな 文化が もつ いいところを 活用します。兵庫県に すむ人たちが みんな いっしょになって 地域を 元気にします。

## 1 多文化共生の意識をつくります

## 実行する 計画

(1) 多文化共生が大切なことを たくさんの人に 知らせます

- ① 地域の 住民や 会社、NGOなどが 参加する 勉強会をします。
- ② 外国にある 県の 事務所などを つかって 外国の 多文化共生について しらべます。
- ③ 多文化共生の 教育を 進めます。
- ④ 外国人への 攻撃や 差別の 書きこみが ないように インターネットを しらべます

(2) 地域の 様子に あわせて 多文化共生の 環境をつくり、情報を つたえます

- ① 外国人と 地域に 住んでいる人が 話せるようにします。外国語を 翻訳する 機械や 通訳を つかいます。
- ② 外国人と 地域に 住んでいる人が 話すことで、多文化共生が 大切だということを みんなが 知ります。
- ③ 外国人が たくさん 住んでいる 地域のことを 紹介します。
- ④ 兵庫県ぜんたいで 多文化共生が すずみやすい 環境をつくります。

## 2 いろいろな文化を理解して活躍できる人をそだてます

(1) 外国人の 児童・生徒が 日本語や じぶんの 国の ことばを 勉強できるようにします

- ① 学校で 先生が 日本語を 教えることが できるようにします。先生の 教育をします。
- ② 小学校や 中学校で 日本語や 多文化共生を 教えるための 研究をします。
- ③ 特別な クラスを つくって 日本語を 教えます。
- ④ 先生が 日本語を おしえるときに 手伝う人を 学校へ 送ります。
- ⑤ 外国人が 自分の 国の ことばや 文化について 知ることを たずけます。
- ⑥ ふだんの 生活の なかで 安心して あつまることのできる 場所をつくります。
- ⑦ 地域で 日本語を もっと 勉強できるようにします。

(2) 外国人が 学校へ 入って 勉強しやすくします

- ① 外国人の 児童や 生徒を たずける人を 学校へ 送ります。「子ども多文化共生サポーター」です。
- ② 外国人の 児童や 生徒が 学校へ 行くのを たずけます。日本語の 勉強や 進学、就職について 相談ができます。
- ③ 「子ども多文化共生コーディネーター」に 勉強や 進学・就職の 相談ができます。外国人を たずける 団体を 紹介します。
- ④ 外国人の 児童や 生徒が 学校で 勉強することについて 先生を 教育します。
- ⑤ 県立高校で 決まった数の 外国人を 特別に 入りやすくします。外国人が 勉強しやすくなるように たずけます。
- ⑥ 外国人の 生徒が 夕方から 勉強できる 中学校を ふやします。
- ⑦ お金が なくて 学校で 勉強できない 生徒を たずけます。
- ⑧ 外国人学校を たずけます。外国人学校の 生徒が 地域の 住民と 交流することを たずけます。

(3) 外国人留学生や 仕事をする 外国人が 来やすくします

- ① 外国人留学生のための とくべつな 試験をします。外国人留学生が 県立大学へ 入りやすくするためです。
- ② 外国人留学生が 勉強するための お金を 兵庫県が 出します。
- ③ 外国人留学生が 兵庫県の 会社で 働くことが できるようにします。
- ④ 外国の 会社と 高度外国人材<せんもの 技術や 知識を もった 外国人>を 兵庫県に よびます。
- ⑤ 兵庫県の 会社で 高度外国人材が もっと 働けるようになります。

(4) 外国の 感覚を もった人を 兵庫で そだてます。外国との 交流を すすめます

- ① ちがう 文化について 理解する 子どもを 学校で そだてます。
- ② 児童や 生徒が 外国語を つかうことが できるようにします。外国人の 先生が たずけます。
- ③ 国際感覚を 持って 外国人と しっかり 話すことが できる人を そだてます。
- ④ 兵庫県と 関係がある 外国の まちに 交流のための人を 送ります。
- ⑤ 外国の 感覚をもって 多文化共生の 社会をつくります。
- ⑥ 県立大学で 英語で うけることが できる 講義を ふやします。外国人留学生との 交流を すすめます。
- ⑦ 外国の 会社について 知ることが できるようにします。外国に 関係がある 仕事をしたい学生を ふやします。
- ⑧ 観光で 兵庫県に くる 外国人を 迎えることが できる人を そだてます。

## 3 暮らしやすく働きやすい生活ができるようにします

(1) いろいろな 外国語で 情報を つたえます

- ① 役所や 生活の 情報を 外国語や かんたんな 日本語で つたえます。
- ② SNSを つかって 外国語で 情報を つたえます。
- ③ 翻訳の 機械などを つかって 外国人と 地域の 住民が 話しやすくします。
- ④ かんたんな 日本語で 情報を つたえます。
- ⑤ 外国人にも わかりやすい 言葉で 情報を つたえます。

(2) いろいろな 外国語で 相談できるようにします

- ① こまっている 外国人が 外国語で 相談できるようにします。
- ② 外国人が 集まる場所をつくる人たちや 外国人を たずける 団体を たずけます。
- ③ 市や 町で もっと 外国人が 相談できるようにします。
- ④ 国際交流協会や 相談窓口など 外国人を たずける 団体を 連絡を とりやすくします。
- ⑤ 兵庫県の どの地域でも 翻訳の 機械などを つかって 相談できるようにします。

(3) 日本語や 日本の 文化・習慣を 勉強できるようにします

- ① 日本語や 日本の 文化・習慣について 勉強できる場所を ふやします。
- ② 生活している 地域で 日本語を 勉強できるようにします。

③ にほんご 日本語や 日本文化・習慣について 勉強できる 教科書などを つくります。

④ にほんごきょうしつ 日本語教室で 勉強する 外国人が 社会に 参加しやすくします。

⑤ ちいき 地域の 日本語教室を たずけます。

⑥ にほんご 日本語を おしえる 先生や 外国人を たずける人を そだてます。

(4) 医療・保健・福祉の サービスを うけやすくします

- ① ちいき 地域の 病院を もっと つかいやすくします。
- ② びょういん 病院の 通訳を つかいやすくします。インターネットなども つかえます。
- ③ がいこくご 外国語を つかうことが できる 病院についての 情報を たくさんの人に 知らせます。
- ④ にほん 日本社会福祉の 制度について たくさんの人に 知らせます。
- ⑤ こそだ 子育てや 福祉の サービスについて 外国語で 情報を 知らせます。

(5) 住む 家を見つげやすくします

- ① いえ 家を 借りることを ことわられた 外国人を たずけます。
- ② がいこくじん 外国人に 貸すことを ことわらない 家の 情報を つたえます。
- ③ がいこくじん 外国人に 家を 貸すことを ことわらないように 教育を すすめます。
- ④ せいかつ 生活の 規則や 習慣などについて 情報を つたえる 活動を たずけます。その活動を 兵庫県ぜんたいに 広めます。

(6) 外国人の 就職を たずけます。働きやすくします

- ① がいこくじん 外国人を やといやしくするように 会社からの 相談を うけます。
- ② ぎのうじっしゅうせいど 技能実習制度が 正しく つかわれるようにします。会社・地域・役所が 連絡を とりやすくします。
- ③ がいこくじん 外国人を やとう 会社の 意識を 高めます。
- ④ かんけい 関係する 役所と いっしょに 外国人が 安全に 安定して はたらくことが できるようにします。
- ⑤ がいこくじん 外国人を やといやしくするように 国に たのみます。
- ⑥ かんけい 関係する 役所と いっしょに 外国人の 就職を たずけます。仕事に 必要な 教育を します。
- ⑦ がいこくじん 会社で 働くために 必要な 日本語教育を すすめます。
- ⑧ がいこくじんにゅうがくせい 外国人留学生が 兵庫県の 会社で インターンシップ< 試しに 働くこと >を できるようにします。

(7) 災害<地震、津波、洪水など>に そなえます。災害のとき 早く 情報を 知る ことができるようにします

- ① やくしょ 役所や 地域の 住民の 団体と いっしょに 普段から 情報を つたえます。地域の 外国人の 数を 知っておきます。
- ② がいこくじん 外国人のために 災害が おきたときに そなえて 訓練を します。
- ③ さいがい 災害についての 情報を 外国語で つたえます。
- ④ おお 大きい 災害のときに 外国語で 情報を つたえる 場所を つくります。
- ⑤ さいがい 災害についての 情報を かんたんな 日本語で つたえます。
- ⑥ さいがい 災害のときに 家族などと 連絡が とりやすくします。
- ⑦ さいがい 災害のときに 避難所<みんなが 逃げる ところ>で 外国語を 話せるようにします。翻訳の 機械などを つかいます。

(8) 病気が 広がるのを ふせぎます

- ① びょうき 病気が 広がらないように 外国語や かんたんな 日本語で 情報を つたえます。
- ② さべつ 差別の 書きこみが ないように インターネットを しらべます。
- ③ がいこくじん 外国人の あつまりや 外国人を たずける 団体が 感染症<うつる 病気>に 気をつけて 活動することを たずけます。
- ④ いりょう 医療についての 情報や 仕事を つづけるための 情報を 外国語や かんたんな 日本語で つたえます
- ⑤ びょうき 病気が 広がっているときに 情報を つたえます。外国人を たずけます。
- ⑥ かんけい 関係する 役所などと いっしょに 外国語で 相談できるようにします。
- ⑦ がいこくじんがっこう 外国人学校で 教育を つづけるため 病気が 広がらないよう たずけます。
- ⑧ がいこくじんがっこう 外国人学校の 授業を 家でも うけることが できる 環境を つくります。

4 誰もが 参加できる 元気な 地域をつくりたい

(1) 兵庫県に すむ 外国人が 地域の 活動へ 参加しやすくします

- ① やくしょ 役所、外国人を たずける 団体、外国人の あつまりなどが 活動しやすくします。
- ② がいこくじん 外国人の あつまり・外国人を たずける 団体などの 意見を 聞きます。
- ③ がいこくじん 外国人の あつまり・外国人を たずける 団体などが 連絡を とりやすくします。
- ④ がいこくじん 外国人の あつまり・外国人を たずける 団体などが 交流する 行事を たずけます。たくさんの方が 参加できるようにします。
- ⑤ ひょうごけん 兵庫県に 住む 外国人と、外国人を たずける 住民が 知り合うようにします。
- ⑥ がいこくじん 外国人が 地域の 活動に 参加している 地域のことを 調べます。その情報を ほかの 地域に つたえます。

(2) 多文化共生をすすめる人を そだてます

- ① がいこくじん 外国人を たずける 活動を すすめる人を そだてます。勉強会などを します。
- ② ちいき 地域の 多文化共生を すすめる人を そだてます。
- ③ つうやく 通訳をしたり 学校で 英語を おしえる 外国人が 地域の 多文化共生を すすめる 活動に 参加しやすくします。
- ④ たぶんかきょうせい 多文化共生を すすめる 外国人の あつまりなどを たずけます。